

江戸川台駅東口周辺地区再整備事業に関する説明会 議事録（要旨）

1 開催日時及び場所

日時：令和7年9月5日（金）18時30分から20時00分

場所：江戸川台福社会館 2階舞台付集会室

2 出席者

（1）傍聴者：56名

（2）事務局

まちづくり推進部部長

梶 隆之

まちづくり推進課課長

荻込 渉

まちづくり推進課係長

西山 直勝

まちづくり推進課主任技師

長谷川 祐太郎

まちづくり推進課主事

大上 悠介

まちづくり推進課主事

水梨 楓太

3 議題

(1) 事業概要について

- ①江戸川台の現状と課題
- ②エリアビジョンについて

(2) 各施設の進捗について

- ①ジェトロ跡地活用事業
- ②駅前広場整備
- ③商店街通りの整備
- ④今後のスケジュール

(3) その他補足事項

4 議事録（要旨）

(1) 事業の概要について（報告）

事務局

- ・資料（スライド2～7）に基づき、江戸川台の現状と課題について報告。
- ・資料（スライド8～13）に基づき、エリアビジョンについて報告。

(2) 各施設の進捗について（報告）

- ・資料（スライド14～17）に基づき、ジェトロ跡地活用事業について報告。
- ・資料（スライド18～19）に基づき、駅前広場整備について報告。
- ・資料（スライド20～30）に基づき、商店街通り整備について報告。
- ・資料（スライド32）に基づき、今後のスケジュールについて報告。

(3) その他補足事項（報告）

- ・資料（スライド33～34）に基づき、その他補足事項について報告。

・ 質疑応答

質問者

いきなりエリアビジョンという個別の事象の説明になっています。これをできれば再整備事業というものにおける大きな考え方やコンセプト等を3つ4つぐらい大きな目標にまとめていただきたいです。

商店街通りについて、「通りの一方通行化」という要望があって、それを踏まえた商店街通りの設計に着手しているとありますが、どの辺まで着手されているのか説明してほしいです。

ほこみち再生事業は国の補助金が出ると聞いています。これについてご説明いただきたいです。

事務局

1 点目のエリアビジョンについては、まず大きなコンセプトとして目標と小目標を既にまとめており、そこから各施設のどういった施設整備をしていくかというところに下りている構成になっています。また、エリアビジョンは、市がいきなり策定したものではなく、地元の関係者の方々に意見聴取を行うことや事業進捗をお知らせするための「森のまちだより」を用いて江戸川台周辺にお住まいの方々へ周知をしてきたところであります。また、昨年度はまちづくりの専門家による講演会「江戸川台まちづくり講演会」を2回開催し、市からはエリアビジョンの説明や事業の進捗をお伝えしてきました。

2 点目、設計にどこまで着手しているかについては、まだ具体的に示せる状況ではありませんが、一方通行であればどういう形があり得るか、いくつかのパターンを検討しているところです。

3 点目、「ほこみち」という話がありましたが、道路法の規定で基本的に道路は人や車などが通るためのものなので、テーブルやベンチを常設できません。社会実験の際は、コロナ禍で飲食をすると密になるのでそれを避けるための一環として、外でテーブルや椅子を出して飲食をすることができました。「ほこみち（歩行者利便増進道路）」とは、それに指定することで、コロナ禍でなくても、歩行者の動線を邪魔しない範囲でテーブルや椅子を置いて飲食が可能となる、いわゆる法律の緩和のことをいい、このような取り組みがいま全国でスタートしています。

できるだけ歩いて楽しいまちをつくっていこうというのが国の方針であり、その流れで「ほこみち」というものがあります。「ほこみち」に関して、補助金が出るということではなく、ほこみちの区域を指定することにより、道路の利活用がしやすくなるという規制の緩和というふうに認識していただきたいです。現在、ほこみち制度を導入したわけではなく、制度を導入することで使いやすい道路ができるのではないかと、ということを検討している段階であります。

質問者

一方通行にして、セブンイレブンのところで曲がるという話がありましたが、その曲がる場所の道路の幅員や安全確保のための設備等は考えていますか。もし、そのようなことが考えられていないようであれば、今まで通り商店街通りをロータリーに接続させる形が良いです。

バス停は5か所の計画ですが、バスが増える見込みは特にないので、バスが増えない限りは一般車用に停車できる場所にしたい方だと思います。

事務局

1点目、セブンイレブンの脇道を通ることの安全性については、車両の軌跡図により消防車やトラックなどの大型車両が問題なく通り抜けできることを確認しています。

2点目の意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。

質問者

質問ではなく私見を述べさせていただきます。回答は不要です。エリアビジョンにおける商店街通りの方針は、高齢者や子どもが安心・安全に回遊できる歩行者優先の道路化となっています。歩行者優先の道路化という目標は、現在我が国だけではなく、世界の各地で試みられている取り組みで、「自動車を排除して、歩行者や自転車、公共交通機関に通行を制限し、まちの安全性を高め、にぎわいのあるまちづくりを進めていこう」といういわゆる「トランジットモール」の考え方であり、この考え方をまちづくり推進課が掲げ、江戸川台でもそのようなまちづくりが

行われることを期待していましたが、市からの説明は自動車を通す案も検討の一つであるというものでありました。一方通行としてしまうと、自転車が歩道に上がってきて、歩道は自転車と歩行者が通る道になってしまい、決して安全安心で回遊できる道とはなりません。歩行者優先の道路化を目指すならば、自動車を排除した案というものを考えるべきです。

質問者

スライド13についてお聞きしたいです。北部地域包括支援センターのところがスクールバス、企業バスの乗降場になるということですが、バスの枠はどのぐらいなのか、また、柏の葉方面から来たバスが、ここに停まって、また柏の葉方面に行く場合、どういうルートを通るのかイメージできないです。この場所を境に、ここでUターンをするとすると、大型バスだとかなり無理があるUターンになるのではないかと思います。

ロータリーに5台のバスの枠があり、そこに空きがあるということなので、スクールバス等の乗降場は無理に北部地域包括支援センターの跡地に設けずに、ロータリーのところに設けた方が良いのではないかと思います。現状、北部地域包括支援センターの脇道は、結構自転車が通っていて、商店街通りと交差するところで飛び出してくる自転車が多いです。ここをスクールバス等の乗降場とすると、自転車と歩行者の接触事故が増えるのではないかと思います。

また、スライド19に関して、バスが通る部分の道路幅が狭いと感じます。昔ロータリーを整備した際、一般車が邪魔でバスが通れなくなり、結局後から拡幅工事をしたので、今回もそういう無駄な工事が発生しないかと懸念しています。

最後に、スライド16のジェットロ跡地について、令和9年に竣工ということなので、もう図面や整備施設の詳細を説明してもらえるものだと思います。

事務局

北部地域包括支援センター跡地については、設計はこれから行っていくため、詳細が決まった段階で再度ご説明します。

自転車が交錯して危ないのではないかという点は、ハード整備だけではなく、広場内での自転車押し歩きの啓発や指導などのソフト面の対策も含めて考えていきたいです。

ロータリーの設計は千葉県警との協議が必要となっており、ロータリーの車が通る部分については、県警から大きく2点の考えが示されています。1点目は、バスが停車するレーンと一般車が通行するレーンを分けることです。今回の設計でもバスのエリアと一般車、タクシーが分かれている形になっています。2点目は、一般車が通行する車路の幅員は必要最小限にすることです。仮に一般車の通行する道路の幅員を広くしてしまうと、車が並走してしまうことや、車道上に一般車が一時停止してしまい停車している車の脇を他の車がすり抜けることが多くなり、車両交通上危険が生じてしまいます。これらのことから、現在の形状となっています。

ジェット口跡地については、現在、事業者の募集を行っています。11月下旬に事業者が決定するので、次回の説明会では詳細をお伝えできると思います。

質問者

先ほどスライド19についての説明がありましたが、ロータリー中央の緑地について、ここまで必要なのでしょうか。昔、緑地になる前は、噴水があり、待ち合わせ場所などとして市民に使われていましたが、この場所は緑地として芝生か何かになるのでしょうか。このままだと草木が生い茂り、草刈り等で無駄な費用を使うだけになります。

先ほど別の方も言っていましたが、セブンイレブンの脇は本当に危ないです。道幅が狭く、自転車も多く停まっており、そこを今よりも多くの車を通すとさらに危険になると思います。

商店街を車がまったく通れなくしてしまうのも結構困ります。足の悪い人など、車で連れていかないと駄目な人もいます。車を停められるところも配慮したうえで考えていただきたいです。

駅前にトイレが欲しいです。駅舎やセブンイレブンばかりにトイレを借りていては申し訳ないです。

事務局

ロータリー中央の緑地帯が大きいのではないかという点については、今の案よりも中央の島を小さくしてしまうとバスが曲がりきれないため、結果としてこの広さになっています。

この緑地帯の設えはまだ決まっていますが、現状、中央の緑地帯の見通しが悪いという声もあるので、芝や低木など、見通しを極力妨げないような設えにしていきたいです。かつては待ち合わせ場所であったという話がありましたが、商店街側に整備する歩行者広場は今よりも空間的なゆとりが生まれます。

セブンイレブン脇の道路が危ないということについては、先ほども意見をいただいたので、安全性について十分に検討していきたいと思います。

トイレについては、現時点で市が駅前に公衆トイレを設置するという計画はないです。ジェトロ跡地に建物が建ち、その中にトイレも含め多くの施設が入ると思うので、できるできないはまだ事業者も決まっていないので何とも言えませんが、そこをなるべく自由に、市民の方々が使いやすくできるように事業者の方と話をする余地はあると考えています。

質問者

今までの議論の中で、歩行者と車の動線についてはいろいろと話し合いがなされてきましたが、自転車の動線について要望いたします。駅前に駐輪場が2か所あり、そこに向かう青田方面からの自転車が、非常に危ない通り方をしています。江戸川台東1丁目の交差点をまっすぐ駅方面に進むのではなく、左に曲がって、一本裏の住宅街を通る自転車が多く、それが通学する児童と交錯して非常に危険です。

通学路に関する安全対策要望として市にも話はしており、道路管理課の方で、注意喚起の標示はしていますが、駐輪場の方へ行く自転車の動線をどうするのかというのも検討していただきたいです。ロータリーの中はバスの停留場もあり自転車が通行できないため、駐輪場に行く自転車がどこをどうやって安全に通るか、歩行者と自転車をどう分けるのかという検討をお願いしたいです。これについては、千葉県警から江戸川台東は、自転車が危ない地域として、「自転車指導啓発重点地区」に指定

されています。

その中に対策として、「自転車通行帯の整備」が県警の方から掲げられているので、今回ロータリーを計画するうえで、このことを関係部署と協議していただきたいです。

事務局

貴重なご意見として承らせていただきます。

質問者

今の意見に補足させていただきます。江戸川台東1丁目の信号の話が出ましたが、交差点の信号から駅のほうへ向かう道路は、歩道も自転車通行可という標識が立っています。元々駅方面に向かう自転車の通行も多く見込まれていたと思いますが、実際には青田方面から来る自転車の1、2割しか真っすぐ行かず、ほとんどが先ほどの方が言った細い道の方へ曲がっていき、そこで児童とすれ違う形で、危険な状況が起きています。

事務局

市の関係課とも話をして対策について考えていきたいです。

質問者

今の自転車の話に関して、確かに通学中の児童と自転車が危ないと感じることが多いです。ただ、自転車利用者としても交差点を真っすぐ駅方面に行った時に、バス停待ちの人が多く、ロータリーを通りづらいので、裏から行った方が自転車自体は安全なんじゃないかと感じているのではないかと思います。駅に向かう際に、その道を通るとなるとやはり歩道を通らないといけなくなり、歩道を通ると、JAのビルの前のバス待ちの人を避けていかないといけなくなるので、自転車専用通路のようなものがあるとありがたいです。

また、自分は商店街組合にも入っており、商店街組合として一方通行の要望書を出しましたが、先ほど挙がっていた、道の安全性だったり、これからの「歩行者優先」というのを考えると、車をちゃんと停められ

る場所があれば、商店街通りを歩行者優先や歩行者専用にしても時代的にも仕方ないんじゃないのかという気持ちも少しあるので、そのあたりも意見として聞いていただければと思います。

質問者

セブンイレブン脇の道が危ないという話が多く挙がりましたが、反対の南側に抜けることが警察の方から駄目だと言われた理由を教えてください。更地になっている部分（第1ビル跡地）に道路を拡幅すれば、セブンイレブンの脇へ抜けるより安全で良いのではないかと思います。

事務局

商店街通りから来て大聖のビルの脇道に曲がると、本来はジェトロ跡地の前面道路に左折のみで出ていかなければなりません。しかし、ジェトロ跡地の前面道路に差しかけると、計画上ちょうど前方に一般車等がロータリーを転回する車路が見えている状況となり、左折せずに直進して転回する車路に誤進入される恐れがあることから、県警の指導によりそのような設計は認められないと言われています。

質問者

それであれば、ロータリー内の島をもう少し小さくして、転回するための道路の位置を駅側にずらせばいいのではないのでしょうか。

事務局

バスの停留所を5か所確保したうえで、ロータリー内を転回する道路の位置をずらすのは難しいです。また、商店街の裏通りの形状も若干変わるので、大聖のビル脇の既存道路を残すとなると、2つの道路が同時にジェトロ跡地の前面道路に接続することになり危険であるとの指導を県警から受けました。

別のパターンとして、商店街の裏通りに大聖のビル脇の道路が合流する形態を考えましたが、道路設計上の決まりで合流する場合は片方の道路がもう片方の道路に直角に接続しないといけません。これに加え、緊急車両など、大型車でも通行できる道路形状を検討すると、大きく駅前

広場の滞留空間をつぶしながら接続する形になってしまいます。

質問者

商店街通りが歩行者道路になるという案をはじめ市から提示されたときに、商店街としては、遠方から車で来るお客さんを目的にしているわけではないが、高齢化の影響もあり、徒歩や自転車では来れないお客さんもいるし、車が全く通れないのは商店街にとって打撃だろうということで、商店街の申出という形で、一方通行の案がいま出てるわけですが、確かにこれまで多くの方が指摘した通り、郵便局の方から入ってきて、蛇行しながらスピードはそんなに出不いにしろ、セブンイレブンのところで右折して駅の方に行くっていうのは危険だと思います。

実は今の第2ビル（セブンイレブン脇の通りを挟んだ向かいの建物）は自分を含めた10数名の地権者で持っているものですが、建物の老朽化もあり来年の3月に売却する方向で話が進んでいます。なので、もしそこをどうしても通すのであれば、今回の売却の際に話をして、その土地の一部を道路拡幅の用地とすることも可能かと思います。ただ、入札が10月から始まるので、時間的余裕はないです。今の状態では危険であるし、車を通せなくして歩道だけになるのも商店街の人は困ると思うので、安全には留意したうえで、少し車が通れるような一方通行の案を考えていただきたいです。第2ビル跡地の一部を道路にする、それが無理であれば先ほど言ったように大聖の脇を通す。もしくは、一方通行でスピードが出ないようであれば、現在のように商店街通りからロータリーにそのまま通してもいいかなと思います。ただ、商店街通りを通勤の送迎のために通るのは、少し考えていただきたいということは言っておきます。

事務局

オーナーの立場からのご意見をいただき感謝します。また別途、話をさせていただければと思います。

質問者

1年前の7月22日に商店街から意見書を出し、それをもとに今の案

を作成しているとのことですが、一方通行にすること自体はもう決定したのでしょうか。もし、一方通行を優先に考えているならば、ロータリーから車を最徐行で通すことを最終的には考えていただきたいです。セブンイレブンから通すのも、タニカツさん（現在は大聖）の前の道路を広げるのも現時点では危険と感じるので、ロータリーから入れる道を工夫して検討していただきたいです。また、自転車利用者も多いので、自転車の安全利用もしっかり検討していただきたいです。

事務局

今日の説明の中でもお伝えしたとおり、一方通行化は確定ではありません。この案を説明するのも今日が初めてなので、そこで決めるということではなく、今日いただいた意見を持ち帰って検討し、次回の説明会で改めて検討結果を説明させていただきたいと思っています。

商店街通りからロータリーの方に通り抜けてはどうかという話がありましたが、その場合のデメリットとして、一般車の停められるスペースが減ってしまうということがあります。現在、ピーク時間に多くの混雑が発生している状況はご存知かと思いますが、商店街通りがここに接続する場合、その部分及び付近のスペースには一般車が停められなくなってしまうため、多くの一般車用の駐車スペースが制限されてしまいます。

質問者

商店街通りに一時的に車が停められるスペースをつくることはできるのでしょうか。

事務局

検討可能だと思います。一方通行でありながらも、道路に膨らみを持たせて停車できるスペースを設けている事例はあります。

質問者

先ほどロータリーへ接続させることによって一般車用の駐車枠が減るという説明がありましたが、やり方によっては全然減らないという理解でよろしいか。商店街のところに駐車枠を設ければ、駐車台数を減らさ

ずに接続できるのではないのでしょうか。

事務局

商店街通りの中にも何か所か駐車スペースを設けるということは検討できます。

質問者

バス停を5か所設けるということだが、それを減らせば一般車が停車できる場所を作れると思うので検討していただきたいです。そうすれば商店街通りと接続させても問題ないと思います。

質問者

イーストリートに参加させてもらった立場から言わせてもらおうと、車は全部止めたいと思っています。商店街の方からすれば、商売に影響があると言われてしまうと思いますが、子どもたちの通学路でもあり、この間も車と子どもたちがぶつかりそうになって危なかったです。イーストリートでは、にぎわいもあり楽しいこともいっぱいできました。ベンチを置いたり、みんなでおしゃべりしたり、商店街で買ったものをそこで食べたり、そういう憩いの場みたいなのができていたので、新しい江戸川台の再開発という意味では、商店街の方々にも頑張ってもらって新しいお店をたくさん入れるとか、いろんな方に使ってもらってレンタルのスペース作るとか、ジェトロ跡地と商店街とそれから駅前全部ひっくるめて、再整備するという意味で私は車を全部止めて新しい江戸川台になったらいいなというふうに思っています。

質問者

毎朝、江戸川台小学校のパトロールをしている人間として意見を言わせていただきます。駅からこの商店街を通って江戸川台小学校に通学している子どもが多くいます。先ほど、北部地域包括支援センター跡地におけるバス乗降場の整備の話がありましたが、あそこはものすごく危ないです。信号待ちの歩道のたまり場として、商店街から来た子どもたちが多く集まる場所でもあるので、そのことを重視して検討していただき

たいです。

質問者

まず全体のところで、ここまで今住んでる方とこれから住む方を想像して具体的な計画に落とし込んでいただいて感謝します。歩行者の広場もああいうふうに広い形に変わるのはすごくワクワクしています。色々な方がいると思うが、自分の場合は今30代で小さい子どもが3人いるので、その範囲でしか想像できないし、両親が70代でその両親の視点で物事を考えられると思うが、市役所の方も様々な世代のこと、未来の世代のことを想像してこういう形になっているのだろうと推察します。色々な意見はあると思うが、我々がない視点を市役所の方も補っていただいていると思うので、計画が遅れない形で進めていただけるとありがたいです。

2つ目がプロセスの部分で、これまで多くのヒアリングや現地調査等を行い決められてきたと思います。自分はここに住んで1、2年で意思決定には参加していないが、参加していない方もこれから入る方も納得感のある決定プロセスだなと感じました。個々に考えたら意見の差はあると思いますが、ここに住んでいる方とこれから住む方を考えた意思決定であると思うので、最終の形について、自分は賛成であり、楽しみにしています。

最後に、今日多く議論になってた商店街通りに関して、車を通す通さないの意見ではないが、我々世代としては、歩行者優先のエリアがあることについてはとてもありがたいです。現状のままでは、子どもを連れて商店街に行ったり、子どもだけでおつかいに行ったり、両親が孫を連れて買い物に行ったりすることは、子どもの安全を考えたときに不安に感じます。歩行者優先のような、そういったエリアが確保されてるということは、商店街の方にもネガティブな要素もあるとは思いますが、逆に我々のような、今買い物に行けないような世代にもポジティブな影響があるので、歩行者の広場がしっかり確保されてる計画については大賛成です。

事務局

今住んでいる方、これから住みたいと思ってもらえるようなまちにするにはどうしたらいいかは、市役所の中でもしっかり考えていますが、長く住んでいる方々でしかわからない、我々ではわからないこともたくさんあると認識しています。そういったところは今日のような場でぜひたくさん意見をいただき、今後の計画に積極的に反映できたらと考えています。

質問者

この再整備事業はきっとこれから30年、40年維持していくものを今からみんなで作ろうとしているところなんだと思います。なので、今日参加された方々には、これを家に持って帰ってぜひご家族と話してもいただきたいです。立場が違くと意見も違うことはあると思いますが、良いまちをつくろうということに関しては、同じ方向を向いてると思います。結果、自分の思い通りにならなかった部分も必ずあると思いますが、それも当然だと思います。今日、説明会に参加している方は50～70代が多いので、ぜひ、幅広い世代に、こういった計画をもっと話して、市役所の方も、若者の意見もどんどん取り入れて、より良いまちづくりをしていただきたいです。

質問者

商店街通りの裏通りに関して、ジェットロ跡地を少し削って拡幅すれば、そこで商店街の貨物の搬出などができるのではないのでしょうか。

事務局

商店街の裏通りにはジェットロ跡地以外にも、マツモトキヨシがあり、そこは民地なので、道路拡幅はできないです。

質問者

北部地域包括支援センター跡地の利用について、6号公園から郵便局の前までを範囲としたときに、車の出入りはどこから考えていますか。北部地域包括支援センター前の部分の歩道は、できるだけ歩道で残して

おいた方が車の出入りがしやすいと思います。それを潰してしまうと、車は大通りから出入りしなければならなくなります。

事務局

本日のご意見の中でも、学校が近い、子どもたちが多くいる、その安全性をどう確保するかということが大きなテーマだと思っています。それを踏まえた北部地域包括支援センター跡地の整備を考えていきたいです。

質問者

自分もやはり「子どもの安全」というところは、大事に考えていただきたいなと思います。一方で、自分も西口で商売をやっているので、商店街の方々の気持ちも理解できます。また、自治会の方々には、江戸川台小学校へのリサイクル補助金の寄附であったり、日頃の見守り活動をしていただき、非常に感謝しています。そこで、一つ提案なのだが、自治会、商店街をはじめとする、江戸川台に対する熱い思いを持っている方々で1回飲みに行ったらいいのではないのでしょうか。そうすれば、親睦も深まり、ざっくばらんな意見も出しあえて、さらに江戸川台が良くなると思います。

質問者

ジェトロ跡地の件で、自分は2年ほど前にあった、ジェトロ跡地活用事業の市民検討会に参加しました。そのときの基本構想に沿って今の計画がされていると思いますが、自分はそのなかでもにぎわいという面で「ライブラリーカフェ」が非常に重要であると思っており、蔦屋書店のようなものを期待しています。プロポーザル事業者の決定が11月ということですが、言える範囲で進捗状況を教えてほしいです。また、実際に建物自体は市ではなく事業者が全て建て、市がその活用する部分を賃借するという認識でよろしいですか。

事務局

ジェトロの進捗状況として今お伝えできることでいうと、この公募を

する前に、サウンディング調査という形で、基本構想にある施設を入れるという条件で、こういった民間事業者から提案がもらえそうかヒアリング調査を行いました。そこで複数の事業者が関心を持っていることは確認しました。また、募集要項等の公表後、質問・回答という形で、応募を検討している事業者から多くの質問があり、そこでも今回の公募に関心を寄せる事業者がいることがわかりました。なお、提案書類の提出は10月からなので、どんな提案が来るかはまだわかりません。

ご認識のとおり、今回の事業では、民間事業者が設計、建設、それから長期の維持管理を行います。建物は民間事業者が建て、民間事業者の所有になります。そのうち公共施設部分だけを市が賃借する形となります。

質問者

先ほどもお伝えしたとおり、第2ビルの売却意向があり、土地面積は160坪ほどであります。自分たちにとっては、駅前の大事な場所であるので、ただ単にマンション等を業者に売るよりは、しっかりとした開発業者等に売りたいと考えています。ジェットロ跡地に入る施設が具体的に分かると、第2ビルの土地の購入を検討している業者にも伝えることができ、土地利用の幅も広がると思います。江戸川台のにぎわいのために、ジェットロ跡地と第2ビルの跡地の双方でうまく相乗効果が生まれるような施設を誘致できればと考えています。自分も江戸川台で長く商売させてもらい、地元の方に恩返ししたいし、江戸川台のにぎわいをもう一度戻したいという気持ちがあるので、市役所とも協力しながら、また次回以降も意見を交換しながら進めたいと思っています。

事務局

ジェットロ跡地の優先交渉権者の事業者が決まるのは11月を予定しているので、次回の説明会の時には、お伝えできる情報は説明させていただきたいと思っています。

閉 会

事務局

本日、皆様からいただいた意見等をもとに各事業の検討を進めていきます。

次回の江戸川台駅東口周辺地区再整備事業に関する説明会については、年内開催を予定しています。

以上